

富里市総合計画の策定に向けて

平成22年2月24日
富里市基本構想審議会

これからの とみさと について

＝富里市まちづくり市民会議提言書＝



平成21年11月

富里市まちづくり市民会議

提言にあたって

私たち19名は、富里市の新たな総合計画作成の一環として、富里の将来について市民の立場から意見交換や討議を行い、取りまとめた意見を市長に提言する「富里市まちづくり市民会議」に参加しました。

この市民会議は、平成21年6月の第1回会議から11月までの約半年間、当初は6回の会議予定でしたが、予定以外にも、リーダーと書記を中心とした会議を3回開催し、富里のまちづくりについて私たちの夢や願いを込め議論を重ねてきました。

そして、話し合いを進めるにあたっては、行政に期待することなどに加え、自分達のまちを市民自らの手で築いていこうという考えを持ち、積極的に参加、協力することが一番大切であり、これからの富里のまちづくりにおいて「市民としてできることは何か、一人ひとりが主役」ということについても検討しました。

この提言書には、市民の視点による自由な発想が詰まっています。「これからのとみさとについて」を私たちの思いとして、これからのまちづくりの一助となることを期待します。

最後になりましたが、的確なアドバイスをいただきました千葉大学の関谷先生に心から感謝とお礼を申し上げます。

平成21年11月

富里市まちづくり市民会議 委員一同

目 次

I	はじめに	1
1.	実施の目的	1
2.	検討経過	1
3.	実施体制	2
4.	班の主な検討内容	2
II	提言内容	3
1.	まちづくりについて	4
	（1）提言の主旨	4
	（2）提言の項目	4
	（3）提言内容	6
2.	くらしづくりについて	24
	（1）提言の主旨	24
	（2）提言の項目	24
	（3）提言内容	25
III	参考資料	
1.	まちづくり市民会議設置要領	34
2.	委員名簿	36
3.	まちづくり市民会議の進め方	37

I はじめに

1. 実施の目的

総合計画の策定においては、市民の意見を反映させた計画づくりが必要です。市民参加の手法としては、アンケート（市民意識調査）、パブリックコメント（意見公募）が行われますが、それだけでは民意の的確な把握や多様な意見を把握することは困難と考えます。

このような問題を補完することと市民が市政について考え行動すること及び信頼関係に基づく協議を実現するため、富里市まちづくり市民会議を実施しました。

2. 検討経過

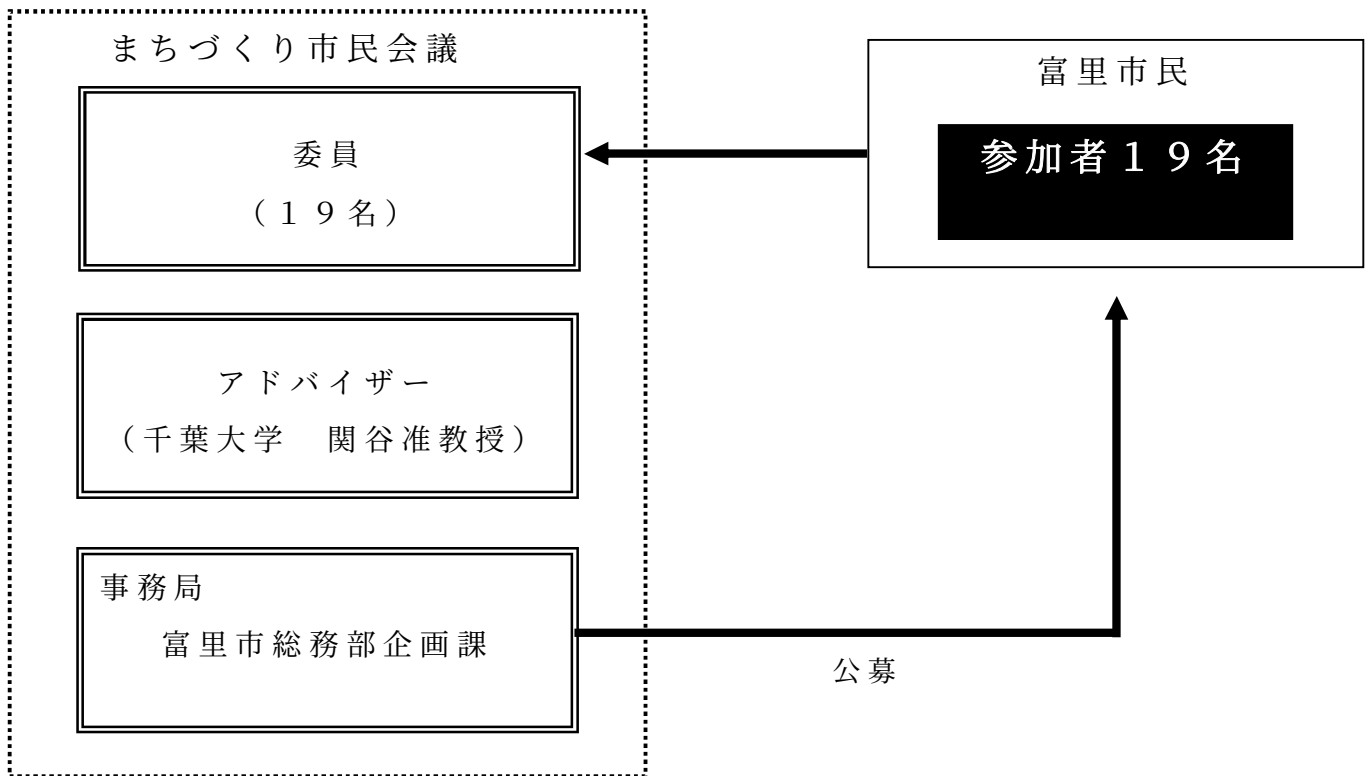
日時	テーマ・内容
第1回 平成21年6月23日（火） 19：00～21：00	☆委嘱状の交付 ☆副市長（市長代理）あいさつ ☆アドバイザー（関谷 昇千葉大学准教授）の紹介 ☆事務局員の紹介 ☆富里市まちづくり市民会議の設置について ☆富里市まちづくり市民会議委員の紹介（自己紹介） ☆座長・副座長の選出 ☆市民会議の進め方
第2回 平成21年7月28日（火） 19：00～21：00	☆あいさつとオリエンテーション ☆まちづくり班・くらしづくり班の編成 ☆各班のリーダーと書記の選出 ☆ワークショップ ・富里市の「伸ばすべきところ」「変えたいところ」の意見交換
第3回 平成21年9月8日（火） 19：00～21：00	☆ワークショップ ・富里市の「伸ばすべきところ」「変えたいところ」に加え「やるべきこと」の意見交換
第4回 平成21年9月25日（金） 19：00～21：00	☆ワークショップ ・これまでの検討内容の取りまとめ ☆中間発表会
第5回 平成21年10月27日（火） 19：00～21：00	☆ワークショップ ・提言書の取りまとめに向けた作業
第6回 平成21年11月24日（火） 19：00～20：30	☆市長あいさつ ☆座長あいさつ ☆提言書報告会 ☆提言書提出

リーダー・書記	会議：第1回	平成21年10月15日（木）
	第2回	平成21年11月10日（火）
	第3回	平成21年11月19日（木）

3. 実施体制

委員は公募による19名の市民の皆様と、アドバイザー（千葉大学 関谷准教授）で構成されました。

また、検討にあたりましては、まちづくり班とくらしづくり班に分かれて検討を行いました。



4. 班の主な検討内容

まちづくり班

- 生活・環境：土地利用、市街地の整備、道路・交通体系、公共交通、公園・緑地、上・下水道、環境・景観保全、廃棄物処理、消防・防災、交通安全・犯罪
- 産業・経済：農林業、商工業、観光、消費生活

くらしづくり班

- 健康・医療・福祉：地域福祉、高齢者福祉、保健・医療、子育て支援、障害者福祉、国保・年金・生活保護
- 教育・文化：幼児教育、学校教育、生涯学習、スポーツ、文化、文化財、青少年育成、国際化・地域間交流、男女共同参画

II 提言内容

提言書の見方

まちづくり：生活・環境・産業・経済	
目標とするまちの姿（将来像） ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	テーマを示しています
当該テーマに関連した将来の目標としたまちの姿（将来像）を示します ※将来像の考え方を踏まえて、将来像を整理。	
将来像の考え方	
◆○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	将来像に対して出された意見を示しています。 ※「伸ばすべきところ」「変えたいところ」の意見を示す。
◆○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
◆○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
方策の案	
●○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	将来像実現のために、「やるべきこと」としての方策を示します。また、市民として出来ることがあれば示します
・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
◆市民としてできること	
●○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
●○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	

1. まちづくりについて

(1) 提言の主旨

まちづくり班は、農業をはじめとする産業や土地利用、市街地整備などについてのまちの将来像や将来像実現のための方策などを議論しました。

現在やや元気がなくなりつつある「富里を元気にしたい!」、その方策としては、農産物を市民みんなで消費し、来訪客などにPRし、イベントなどで有効活用しながら、地域経済を活性化させるなど、あらゆる場面で農業の活用を検討することで、元気な富里を目指します。

下記にまちづくり班の提言の項目と項目毎の提言内容を示します。

(2) 提言の項目

提言 1 : 農業 + 商業 + 工業 + 観光

- ・すべての産業が結びつき新しい富里づくりを
- ・市民協働! 日本一の農商工連携を目指すまち
- ・農・商・工 地域で回る小さな経済〜野菜にのせて世界にメッセージを〜

提言 2 : 農業・土地利用計画

- ・後継者育成大作戦! 若い世代が活躍する農業日本一のまちへ
- ・大地の恵みを未来につなぐ農業家族・農業ウーマンのまち
- ・農業レボリューション! 自給率 130% のまちへ
(と・み・さと)

提言 3 : 企業誘致

- ・市民のための企業誘致

提言 4 : 歴史・文化・市民活動

- ・固有の文化と歴史を大切にするまち
- ・身土不二〜大地からもらった命・感性を未来につなぐまち〜
- ・なんでも創れる豊かな大地〜きらっと光る農業アートのまち・とみさと〜

提言 5 : 道路・交通体系・公共交通・交通安全

- ・安心安全の道路整備と公共交通機関の充実したまち
- ・こころもつながる子どもからお年寄りまで安心して通えるまち

提言 6 : 環境・景観保全・公園・緑地

- ・素朴な自然と農業文化〜人にやさしい生活文化のあるまち〜
- ・地球にしあわせの種をまく〜人にやさしい自然と調和したまち〜

提言 7：市街地の整備

- ・日吉台地区の再生と環境の整備
- ・イメージチェンジの日吉台
- ・まち並みは住む人たちの心象風景～守ろう暮らしの共有財産～

提言 8：教育・児童・少子高齢化

- ・すべての市民が安心していきいきと暮らせるまち
- ・心と愛を育むまち～みんなが出会いのプロデューサーに～

提言 9：消防・防犯・防災

- ・みんなで守る安全安心な防犯防災のまち

提言 10：医療・救急医療体制の確立

- ・安心して暮らせる医療環境の整ったまちづくり
- ・健康でいきいきした毎日を応援する体にやさしいまちづくり

提言 11：廃棄物処理

- ・エネルギーの未来を語るリサイクル最先端を目指すまち

提言 12：上下水道

- ・上下水道の完備と自然災害に強いまちを目指す
- ・縁の下の力持ち～幸せな暮らしをともに支える上下水道をすべの家族に～

提言 13：役所

- ・自立したまちづくりを目指す

(3) 提言内容

まちづくり：農業＋商業＋工業＋観光

目標とするまちの姿(将来像)

- ・すべての産業が**結びつき**新しい富里づくりを
- ・**市民協働**！日本一の**農商工連携**を目指すまち
- ・農・商・工 **地域で回る**小さな経済～野菜にのせて世界にメッセージを～

将来像の考え方

- ◆富里市の『目玉』となるものを考える
- ◆市の財源はまちの活力→**人を呼ぶ**特徴づくりを
- ◆成田空港を利用する外国人や旅行者などにも、まちの魅力を伝えたい(富里ファンをつくる)
- ◆農業を基幹産業とした、加工(工)流通(商)**サイクル**のある地域経済と、地域雇用の創出を

方策の案

①富里IC付近に農業を活かした観光拠点をつくる

- ・富里インター付近に、見本市のような小さなお店を出店。
野菜の取り放題、乗馬体験、カブトムシ採り、ぶどう狩りなど、体験できる場所を併設する。
- ・バザー・フリーマーケット・のど自慢・すいか割り・ミスすいか・もんぺ改造ファッション。
- ・高速バスターミナルにショッピングセンターを併設する。
 - ◆そのために市民は、みんな何かを提供し、参加する。買う。盛り上げる。声かけをし、参加を促す。
 - ◆そのために行政は、場所を提供する。PRする。農業、商業等各関係者の橋渡しをする。

②中央公園を、農業を活かした緑の広場に改造する

- ・ベジタブルカフェ(富里野菜の食べ放題)、音楽フェスティバル(富里高校JAZZ等、市民や学生も参加)、ファーマーズマーケット(新鮮野菜で生産者と消費者をつなぐ日曜朝市)がある自然あふれる公園に。
 - ◆そのために市民は、参加する。ボランティアとして運営を手伝う。買う。盛り上げる。声かけをし、参加を促す。
 - ◆そのために行政は、場所を提供する。PRする。農業、商業、高校等各関係者の橋渡しをする。

③富里や農業を全国的に、空港利用者に、観光客にPRして来訪者を増やす

- ・農業の情報雑誌・FM ラジオ連携でのイベント開催。
- ・すいかロードレースにもっといろいろな人が来てもらえるようPRする。
- ・東京方面よりバスツアーを組む。
 - ◆そのために市民は、参加する。ボランティアとして運営を手伝う。盛り上げる。声かけをし、参加を促す。
 - ◆そのために行政は、場所を提供する。PRする。農業、商業、マスコミ等各関係者の橋渡しをする。

④スイカロードレースの活用

- ・スイカロードレースを活用し、来訪客が楽しみながら、スイカ以外の他の農産品や観光資源を知ってもらえるようなイベントを企画する。

①富里IC付近から各地区への人の流れをつくる

- ・富里IC付近から、それぞれの地区集落へ人の流れを作る。
- ・道の駅
- ・JA直売所を強化する JA 直売所でスイカの加工品を販売する。
 - ◆そのために市民は、買う。盛り上げる。声がけをする。
 - ◆そのために行政は、場所を提供する。PR する。農業、商業、交通機関等各関係者の橋渡しをする。

②『市』『事業者』『被雇用者』、が協同で新しい雇用体制をつくる

→魅力的なひとづくり・まちづくりを活性化する

- ・『市』が『事業者』と『被雇用者』の仲介をすることで、3 者協同の地域雇用体制をつくる
 - ◆そのために市民は、参加する。ボランティアとして運営を手伝う。盛り上げる。声がけをし、参加を促す。
 - ◆そのために行政は、農業、商業、福祉等各関係者の橋渡しをする。

まちづくり：農業・土地利用計画

目標とするまちの姿（将来像）

- ・後継者育成大作戦！若い世代が活躍する農業日本一のまちへ
- ・大地の恵みを未来につなぐ農業家族・農業ウーマンのまち
- ・農業レボリューション！自給率130%のまちへ
(と・み・さと)

将来像の考え方

- ◆耕作放棄地の増加
→農地として継続させたい
- ◆農業の後継者不足、農家への嫁不足
→農業後継者の育成、若者の受け入れ体制づくり、女性も農業家族を支える地域づくりをしたい
- ◆堆肥・法的に認められた野焼きなど、農作業では異臭が発生することもあるため、住民全体で農業への理解を深めて欲しい

方策の案

①農・商・工・住居地域など、バランスのとれた土地利用計画をたてる

- ・全体的な生産効率の上昇を目指し、農業の合理化、集約化を計る。
- ・土地利用計画を見直す。
- ・まちづくりの基盤を、学校や公共施設から構成される学区の単位とし、『中核都市地区』の発展を目指す。
- ・『中核都市地区』の不動産開発を促進する『インフラ整備重点地区』と、環境を保護する『自然保護区』『農業振興区』を設け、無制限なインフラ整備への投資に歯止めをかける。
- ◆そのために市民は、積極的に協力する。
- ◆そのために行政は、『農業委員会』の活性化に努めるとともに、高齢農家が手入れできない耕作放棄地の有効活用を検討する。
家庭菜園やお花畑として農地を借りたい一般市民や団体に向けて、貸出しを行う。また、希望者に農業指導も行う。
- 『市』『農家』『市民』が一体となることで、耕作放棄地の利用価値を高める。
- 『中核都市地区』の固定資産税の底上げ政策と、『自然保護区』の税の減免政策を実施し、インフラ整備や開発を調整する。

②後継者育成につながる『語る・伝える・育む』農業を実践する

- ・農業研修生の受け入れを斡旋する。
- ・耕作放棄地などを利用して農業体験できる場所を提供する。
- ・食文化や農業への関心など、時代の声に応えるイベント（農業セミナー・農業体験宿泊）を開催する。
- ・農業従事希望者のため、住宅等の環境整備を行う。
- ・VIVIなどのファッション雑誌に農業ボランティアを募集し、若い世代に体験をしてもらう。
- ◆そのために市民は、近隣市町村の農業団体との交流を持つなど、市内にとらわれない交流の輪を大切にする。
- ◆そのために行政は、リーダーシップをとり、市民と農家をつなげる活動を支援する。
また、市民が参加できる農業を実現するため、市民に農園の作り方を教えてくれるボランティア希望者の募集をする。

市内の老人クラブに協力を要請し、農業経験者の方や興味のある方に農業指導を依頼する。

農業、老人クラブ等各関係者の橋渡しをする。

農家の悩みや困っていることについてアンケート調査を実施し、農業関係者だけではなく、市民全体にわかりやすく公開する。市民からも解決方法を募集する等、農業が直面している問題を市全体の問題として改善していく。

まちづくり:企業誘致

目標とするまちの姿(将来像)

- ・市民のための企業誘致

将来像の考え方

- ◆企業の工業団地からの撤退問題
→撤退要因とその影響を明瞭化、今後の企業誘致に活かす
- ◆富里で収穫した青果物を使い、誘致する企業でジュースをつくる

方策の案

①企業誘致の規範をつくる

- ・空港関連産業だけでなく、幅広い産業の誘致に努める。
- ・市の企業誘致政策の実態を市民に情報公開し、財政の透明化を。
- ・固定資産税の減免。
 - ◆そのために市民は、自由な発想で意見し、積極的に議論に参加する。
 - ◆そのために行政は、市長が富里の特産物の『セールスマン』的存在となり、企業誘致のリーダーシップをとる。
 - 市長専属の『企業誘致課』を設立する。
 - 商工会も協力要請に応じる。
- 誘致した企業が短期間で撤退しないため、市独自の措置や対策をたてる。

②富里で生産された農作物が加工販売できる企業を誘致する

- ・キリンとサントリーなどを誘致。
- ・ニチレイやハウス食品など、冷凍食品産業を誘致。
 - ◆そのために市民は、自由な発想で意見し、積極的に議論に参加する。
 - ◆そのために行政は、都心に流通しやすくするため、交通網を整備する。

目標とするまちの姿(将来像)

- ・固有の文化と歴史を大切にするまち
- ・身土不二～大地からもらった命・感性を未来につなぐまち～
- ・なんでも創れる豊かな大地～きらっと光る農業アートのまち・とみさと～

将来像の考え方

- ◆現在も出土している市の歴史的遺産を保管する場所が無い
→歴史的遺産を保管し、楽しく学べる文化活動の拠点をつくる
- ◆ボランティア活動に対する見返りが無い
→『だれかのために何かしたい』という気持ちを応援するしくみをつくる
- ◆定住意識の低下
→富里ならではの心豊かな暮らし方を叶えるまちづくりを

方策の案

●富里文化の保存と創造活動を楽しむ、郷土ミュージアムのコーナーをつくる
(中央公民館や図書館の一部を利用)

- ・郷土資料の蒐集保存を行う。
- ・政治・経済・文化すべて保存し、将来郷土資料館をつくる。
 - ◆そのために市民は、みんな何かを提供し、参加する。盛り上げる。声かけをし、参加を促す。
自分の脚で一回りしてみる。小中学生が教育現場の協力のもと郷土の年中行事に参加する。
 - ◆そのために行政は、場所を提供する。PR する。教育等各関係者の橋渡しをする。
市の職員に一回りしてもらい、『遺産マップ』を活用し、『歩いて回るツアー』を再開する。

●地域や家族の元気と、健康な体をつくる市民体育祭の復活を

- ・レクリエーションで楽しみながら、地域の一体感を共有する場である市民体育祭を復活させる。
 - ◆そのために市民は、参加する。盛り上げる。声かけをし、参加を促す。
 - ◆そのために行政は、市民が一斉に集える機会と場所を提供する。
個人競技のオープン形式だけではなく、学区単位での対戦競技形式を実施し参加意欲を盛り上げる。
地区の中で、参加申込方法が知らされず出場できない家族が存在するようなケースがあった。
→開催情報の偏りをなくし、参加の機会を平等化する。
市民体育祭を継続させるため、楽しめる競技種目になるよう工夫する。

●積極的な『ボランティアさん』を支えるしくみをつくる

- 『HAPPY』と『いいこと』がつながるまちに
- ・社会貢献や ボランティア活動に対する理解や意欲を高めるため、実施者にはポイントなどを還元する。
(まちのお店で使えたり、ささいなプレゼントがもらえると嬉しい)
- ・地域の文化を形成している、未来につなぐべき市民活動を市がバックアップする。

- ◆そのために市民は、参加する。盛り上げる。声がけをし、参加を促す。
- ◆そのために行政は、市の『セールスマン』的存在である市長が、ボランティア活動のリーダーシップをとる。
 - 市のボランティア活動を市内外にPR する。商工会、商店会は協力要請に応じる。
 - 『社会福祉協議会』が市民の窓口となる。
 - 南部地区で利用されている『すいかカード』を、ボランティア活動のポイントカードとしても活用する。

目標とするまちの姿(将来像)

- ・安心安全の道路整備と公共交通機関の充実したまち
- ・ここもつながる子どもからお年寄りまで安心して通えるまち

将来像の考え方

- ◆歩道が狭い。雨天時や小中高の登下校時など、歩行者や自転車の交通事故の危険大
→歩道の幅を拡充する
- ◆市の利便性の向上と発展を
- ◆バスなどの公共交通機関が不便
→気軽に利用できる『市民の足』に

方策の案

①歩行者の歩きやすさに配慮し、歩道のガードレールや幅等を改良する

- ・ガードレールを外し、歩道の充実を。
- ・幼児用三輪自転車、ベビーカーを押す母親や子ども、高齢者などが歩きやすい凹凸のない安全な幅の歩道を整備する。
- ・狭い道路については、応急措置として、待避所を確保する。
 - ◆そのために市民は、沿道の草刈りと清掃等のボランティア活動に参加する。声がけをし、参加を促す。
 - ◆そのために行政は、歩道の改良を行う。
見通しと歩きやすさに配慮し、県道や市道等、沿道の草刈りと清掃を実施する。

②富里に主要道路と鉄道またはモノレールを通す

- ・空港へのアクセス利便性を高めるとともに、酒々井インターから富里市への道路を整備する。
- ・北総鉄道→成田→富里→八街→東金 鉄道網の整備
 - ◆そのために市民は、市に協力する。
 - ◆そのために行政は、鉄道、道路等各関係者の橋渡しをする。

③既存の公共交通であるバスの利便性を向上させる

- ・路線バスなど、既存の公共交通機関の充実と発展を(本数や停留所を増やす、気軽に利用できる運賃に設定する、市内外への乗り継ぎを便利にする)
 - ◆そのために市民は、市に協力する。
 - ◆そのために行政は、バス等の公共交通機関各関係者の橋渡しをする。

④利用者の少ない地域でもバス等の公共交通手段を確保する

- ・八街～実口 行き 路線バスの廃止により、地区住民の暮らしに支障が生じている。
→地域コミュニティバスの運行により、交通手段の地域格差をなくす。
 - ◆そのために市民は、盛り上げる。声がけをし、協力をする。利用する。
 - ◆そのために行政は、交通空白・不便地域の解消を図る手段として、また、高齢者等の交通弱者の移動手段として、
『さとバス』等の地域コミュニティバスを運行させる。
バス等の公共交通機関各関係者の橋渡しをする。

目標とするまちの姿（将来像）

- ・素朴な自然と農業文化～人にやさしい生活文化のあるまち～
- ・地球にしあわせの種をまく～人にやさしい自然と調和したまち～

将来像の考え方

- ◆市民や市外の人が気軽に集まれる、自然の中で遊ぶ場所づくりを
- ◆市街地の開発や大型店舗の出店に伴い経済が発展したとしても、素朴な自然環境の良さや農業文化は保全したい
- ◆幹線道路の通過交通量が多い
→地球と人にやさしいコミュニティ循環バスとメインストリートづくりを

方策の案

①静かに過ごすもよし仲間と賑やかに過ごすもよし、子供から大人まで楽しめる公園緑地をつくる

- ・中央公園の改造、整備。
 - ◆そのために市民は、ボランティア活動としてゴミを拾う。盛り上げる。声がけをし、協力する。利用する。
 - ◆そのために行政は、健康促進に役立つ大人用の運動器具を設置する。公園緑地等各関係者の橋渡しをする。

②過去から未来へのかげがえのないバトンである、農業用地の景観を保全する

- ・十倉など、市南部に広がる大規模な農業用地の景観を保全する。
- ・農業用地内に、住宅や店舗等が無秩序に広まる開発を防ぎ、まとまった規模の農業用地を確保したい。
→秩序ある不動産開発のための土地利用計画をつくる。
 - ◆そのために市民は、環境を汚さない。声がけをし、協力する。
 - ◆そのために行政は、農業用地を保全するための土地利用計画とルールをつくる。

③地球と人にやさしいコミュニティ循環バスと、健康的なメインストリートをつくる

- ・目的地から目的地への循環バスを運行させる。
- ・不便地域の解消や高齢者等の移動手段として、地域コミュニティバスを運行させる。
- ・バスの路線を鉄道の駅に接続させ、利便性を向上させる。
- ・排気ガスや CO2 排出量の多い幹線道路に、歩行者等の健康を守る緑のけやき並木（メインストリート）を。
 - ◆そのために市民は、環境を汚さない。盛り上げる。声がけをし、協力する。利用する。
 - ◆そのために行政は、バス等の公共交通機関、道路等各関係者の橋渡しをする。

まちづくり：市街地の整備

目標とするまちの姿(将来像)

- ・日吉台地区の再生と環境の整備
- ・イメージチェンジの日吉台
- ・まち並みは住む人たちの心象風景～守ろう暮らしの共有財産～

将来像の考え方

- ◆住民の高齢化が、市の財政にマイナス影響を与えている
→明るい未来像を再構築し、ニュータウンと市に活気を
- ◆日吉台小学校付近の住環境の悪化、地区の資産価値の下落
→修景に努める
- ◆日吉台地区と市中心部への公共交通の連携強化

方策の案

①次世代ニュータウンを再考・再生する

- 富里全体の活気につながる、素敵なモノ・コトでたくさんの市街地をつくる
- ・市の税収の安定と増加を計るためにも、ニュータウン地区の再生と発展対策を。
- ・市内外から訪れる医療機関や保育園の利用者に、憩いを与える福祉の市街地づくりを目指す。
- ・医療機関に勤務する医師や看護師に地区の空住居を提供し、定住してもらう。
- ・商工業発展のため、将来的に基幹道路沿線の市街化調整地域指定を外す。
 - ◆そのために市民は、盛り上げる。声がけをし、協力する。
 - ◆そのために行政は、場所を提供する。PR する。医療機関等各関係者の橋渡しをする。

②市民と行政が力を合わせて住居地域の環境を守る・つくる

- ・文教地区の環境整備
- ・条例の整備
- ・住居地区の風紀美化に力をいれる
 - ◆そのために市民は、地域の花壇の管理やゴミ拾いなど、環境美化のボランティア活動に参加する。
 - ◆そのために行政は、『環境美化推進協議会』が窓口となり、市民と協同で市街地の美化にあたる。

目標とするまちの姿(将来像)

- ・すべての市民が安心していきいきと暮らせるまち
- ・心と愛を育むまち～みんなが出会いのプロデューサーに～

将来像の考え方

- ◆少子化(浩養小学校地区の少子化は著しく1年生の児童数は10名。年々減少傾向にある)
30～40代の子育て世代の人口減少(市は県平均の年齢構成比を下回る)
→子どもを育てやすい環境のまちをつくる
- ◆高齢化
→趣味やボランティア活動を楽しむアクティブシニアが暮らすまちをつくる
- ◆児童、妊婦、高齢者、ハンディキャップのある人などすべての市民が安心して暮らせる
ノーマライゼーションのまちをつくる

方策の案

①富里で結婚したい人たちを応援する

- ・市主催の婚活コン
- ◆そのために市民は、参加する。ボランティアとして運営を手伝う。盛り上げる。声がけをし参加を促す。
- ◆そのために行政は、場所を提供する。PRする。イベントをとりまとめ、各関係者の橋渡しをする。

②お産と子育てを支援する

- ・市立保育園を増やす。
- ・児童手当を増やす。
- ・少子化傾向にある地区の市立幼稚園(浩養幼稚園)を廃園にするのではなく、存続させるよう努める。
- ◆そのために市民は、近所の子供の顔を覚え、日常的なコミュニケーションを大切にする。
- ◆そのために行政は、市立保育園、児童手当、市立幼稚園の存続に前向きに取り組む。

③子どもから大人までがつながり合い成長していくコミュニティをつくる

- ・子どもの健やかな成長と、郷土への愛着が育まれることを願い、市内の小中学生に農業体験を実施する(食農教育)。
- ◆そのために市民は、近所の子供の顔を覚え、日常的なコミュニケーションを大切にする。
- ◆そのために行政は、実施されている学区の事例を参考に、食農教育を市全体で統一して実施する。
教育機関等各関係者の橋渡しをする。

⑩妊婦、高齢者、ハンディキャップをかかえる人たちの自立した暮らしを応援する

- ・路線バスなどに車いす用リフトを設置し、自立した生活体制を支援する。
- ・幼児用三輪自転車、ベビーカーを押す母親や子ども、高齢者などが歩きやすい凹凸のない安全な幅の歩道を整備する。
 - ◆そのために市民は、譲り合い、困っている人がいる時には声をかける。介助する。挨拶をする。
 - ◆そのために行政は、歩道の改良を行う。公共交通機関等各関係者の橋渡しをする。

目標とするまちの姿(将来像)

- ・みんなで守る安全安心な防犯防災のまち

将来像の考え方

- ◆消防団への理解を深め、住民に協力して欲しい
- ◆火災よりも、緊急搬送の出動が多い
→緊急搬送体制の強化を
- ◆富里市の防犯体制を強化する

方策の案

①防災体制を整え、スムーズな消防活動を実現する

- ・南部地区に緊急搬送のシステムをつくる。
- ・消防車、消防機材の整備。
 - ◆そのために市民は、消防団に積極的に参加する。協力する。違法駐車を止める。
 - ◆そのために行政は、消防署の防災体制を整える。

②救急車を増やし、スムーズな緊急搬送活動を実現する

- ・救急車の所有台数を増やす。
 - ◆そのために市民は、救急車の乱用をしない。違法駐車を止める。
 - ◆そのために行政は、受診すべき医療機関のガイドラインをつくる。消防署、医療機関等各関係者の橋渡しをする。

③暮らす人々が地域ぐるみで防犯防災の活動に取り組む

- ・各地区の防犯パトロール隊の連携を密にして、情報共有化を図り、防犯活動の強化に努める。
- ・富里市独自の防犯パトロールを強化し、また回数などを増やす。
- ・学区単位で、住民の防犯活動を行う。
 - ◆そのために市民は、防犯パトロールの協力要請をパスしない。挨拶など日常的なコミュニケーションを大切にする。
通勤時も防犯パトロールをしている気持ちで街の様子に気を配る。
 - ◆そのために行政は、不審者情報をながす。消防署、警察等各関係者の橋渡しをする。

まちづくり：医療・救急医療体制の確立

目標とするまちの姿（将来像）

- ・安心して暮らせる医療環境の整ったまちづくり
- ・健康でいきいきした毎日を応援する体にやさしいまちづくり

将来像の考え方

- ◆高齢者の増加と医療体制への不安
→地域の医療機関が充実した長寿の富里づくり

方策の案

①災害や病気やケガなど、もしもの時にも安心して暮せる地域医療のネットワークをつくる

- ・救急車が短時間に搬送できる体系の確立。
- ・地区ごとの医療機関の充実、地区の病院と総合病院の連携体制強化を。
 - ◆そのために市民は、地域の医療活動に協力をする。
 - ◆そのために行政は、緊急搬送、医療機関等各関係者の橋渡しをする。

目標とするまちの姿(将来像)

- ・エネルギーの未来を語るリサイクル最先端を目指すまち

将来像の考え方

◆ごみの減量化政策が無い

→富里オリジナルな回収→リユース・リサイクルのしくみをつくる

方策の案

●はじめる！廃棄物再利用

- ・きめ細かな家庭ごみ分別の取組みを積極的に推進する。
- ・スーパーなど住民にわかりやすい場所にリサイクルボックスを設置する。
- ・リサイクル活動に対する理解や意欲を高めるため、実施者には空き缶ポイントなどを還元する。
(まちのお店で使えたり、ささいなプレゼントがもらえると嬉しい)
- ・ごみの減量化のため、市指定ごみ袋を若干値上げする。収益はごみ回収費、焼却施設管理費等として運用する。
 - ◆そのために市民は、参加する。ボランティアとして運営を手伝う。盛り上げる。声がけをし、参加を促す。
 - ◆そのために行政は、根本名ニュータウンにおけるリサイクル活動の内容、ゴミ減量化政策の実績、報告資料等を市民に公開する。将来的に根本名ニュータウンのリサイクルモデルが市全体で実施できるよう、前向きに取り組む。
南部地区で利用されている『すいかカード』を、リサイクル活動のポイントカードとしても活用する。
リサイクル関連機関等各関係者の橋渡しをする。

まちづくり：上下水道

目標とするまちの姿(将来像)

- ・上下水道の完備と自然災害に強いまちを目指す
- ・緑の下の方持ち～幸せな暮らしをともに支える上下水道をすべての家族に～

将来像の考え方

- ◆富里市は他の市町村に比べ上下水道の整備が遅れている
→上下水道整備率100%を目指す
- ◆雨天時は道路に水が溢れ出しており、歩行者や自転車、自動車事故の危険大
(ラディソンホテル付近は冠水渋滞が起きる、雨天時に路肩が見えなくなる道路が市内全体に存在する)
- ◆合併処理浄化槽整備率 100%を目指す

方策の案

①上下水道と合併処理浄化槽を完備する

- ・市は早急に上下水道の整備をするべきである。
- ・市は合併処理浄化槽の整備を促進するべきである。
 - ◆そのために市民は、市に協力する。
 - ◆そのために行政は、早急に上下水道と合併処理浄化槽の整備を進めるよう、前向きに取り組む。

目標とするまちの姿(将来像)
・自立したまちづくりを目指す

将来像の考え方

- ◆役所の意識改革、組織改革、議員の削減を
- ◆公共施設の採算性なし→財政の圧迫を避けるため、民間企業で運営可能な場合は市営の施設にしない
- ◆市政の情報公開を
- ◆市財政への関心を高める

方策の案

①市民の感覚や意見を行政に反映しやすくする

- ・市の財務健全化を図るため、市民による財務監査を強化する。
- ・市民からの陳情や要望を一括管理する『窓口』を設置する。
 - ◆そのために市民は、富里市議会を傍聴する等、日頃から行政に興味を持ち厳しい目を持つよう努める。
 - ◆そのために行政は、監査機関を強化し、団体のあり方や活動内容を市民に公開する。
現在の負担が将来的にいくらになる・・・など、市の広報紙で累積債務を市民に解りやすく報告する。
〔市債務残高〕〔一人当たりの将来負担額〕〔今年度債務返済額〕等の説明において、役所用語を頻出しない
『窓口』は市民の陳情や要望を各課に連絡する。各課の協力体制を強化し対応にあたる。

②市の広報紙とホームページを改良し、スムーズな情報公開と情報入手の環境を整備する

- ・広報紙・市のインターネットを情報公開にもっと活用する。
(断水時の工事進捗状況、農業活動、消防活動、保健福祉、リサイクルゴミの収集場所など)
- ・リサイクル、食農教育、防犯活動など、先進的に実施している学区の事例を公開し、市全体で統一して取り組む。
 - ◆そのために市民は、様々な活動に参加することで、市の問題を共有し、意識を向上させる。
茶飲み会議のように、気の置けない人と話す感覚でまちづくりのアイデアを出し合える場をつくる。
 - ◆そのために行政は、広報紙・市のインターネットを情報公開に活用するよう努める。
廃棄物再利用、教育、防犯など、市内で統一して実施できるよう努める。

③『役所の意識改革・組織改革・議員数の削減』により、『行政～市民』の親近性が高いまちをつくる

- ・現在の市議会議員数20名は多いため、市内8学区から2名ずつ選出する割合で、計16名とする。
- ・職員賞与を税収連動性とする。
- ・税金滞納防止のための体制を強化する。
- ・取り組むべき政策テーマ(商業活性・雇用創出・医療費抑制など)、数値目標、達成期間を設定し、部署ごとに結成した専門チームが対策に取り組む。
 - ◆そのために市民は、議会に声を上げる。市に協力する。

◆そのために行政は、『徴収される税から収獲する税』への意識改革に取り組む。政策テーマと数値目標等を定め、活動や成果を市民に公開することにより、役所の組織改革に取り組む。

●まちづくり市民会議を様々な分野に広め、継続的に開催する

- ・JA懇談会を、市民と会員が自由に意見交換できる場にする。
 - ・『市民～行政』のタテつながりだけではなく、『市民～団体（商工会やJA など）』のヨコつながりを強化する。
 - ・地区や学区の間で交流を持ち、情報を交換し合う。
 - ・まちづくり市民会議での提言が、今後どのような評価を受け、また履行されうるかを継続的に考察していく。
- ◆そのために市民は、議論の場に参加し、自由な発想を交換しあう。
- ◆そのために行政は、市民会議を定期的 to開催する。農業、商業機関等各関係者の橋渡しをする。

2. くらしづくりについて

(1) 提言の主旨

くらしづくり班は、医療・福祉や教育・文化といった分野を中心に議論しました。これからの少子化や高齢化社会のなかで、「コミュニティ」の大切さ、地域力がまちづくりには必要であると考えます。

自治会活動を中心としたり、地域のあらゆる団体との積極的な出会い、学び合い、連携を推進し、地域コミュニティを軸として連動する体制づくりを目指します。

下記にくらしづくり班の提言の項目と項目毎の提言内容を示します。

(2) 提言の項目

提言 1：福祉（子育て支援）

・みんなで支援、子どもはまちの宝

提言 2：福祉（地域福祉）

・手をつなごう！地域の和

提言 3：健康・医療（市民の健康づくり）

・スポーツを盛んにし、健康を推進！明るく、元気なまち

提言 4：健康・医療（いざという時に）

・いざというときに安心できるまち

提言 5：教育文化（市民が教えあう教育）

・教えあい、みんなで学ぼう！

提言 6：教育文化（多様な学習・交流の場確保）

・もとう…心の豊かさを。

提言 7：環境（リサイクルの推進）

・自分が主役でやろう！環境美化！！

提言 8：市民への情報提供

・積極的な情報共有で住みやすいまち

提言 9：防災・防犯・福祉のまちづくり

・安全安心なまちをめざして

(3) 提言内容

くらしづくり:福祉(子育て支援)

目標とするまちの姿(将来像)

- ・みんなで支援、子どもはまちの宝

将来像の考え方

- ◆子どもは地域みんなで育てる
- ◆共働き家族への支援の強化
- ◆待機児童の減少のための保育の充実
- ◆土・日曜日の小学校の有効活用による、子育て、交流の場の確保
- ◆地域の方が、どのうちの子ともかわかるようなまちづくり

方策の案

①保育園のサービス充実、利便性の向上

- ・市内保育園を増やして欲しい。
- ・保育園の土、日曜日の延長保育、利便性向上のための駐車場確保。
 - ◆そのために市民は、子育てが終わった人に協力依頼する。保護者がお互いに預けあう仕組みづくり。
 - ◆そのために行政は、指導する人の育成。PR(ケータイ電話での情報配信等)して投げかける。有償で協力者を募る。保育士等の人材プールをつくる。

②学校を活用した子育て、交流の場の確保

- ・土、日曜日の小学校で空き部屋を利用して、高齢者、児童間の交流の場所にする。
- ・子育て支援、小学校の空き部屋を利用する。
- ・スポーツ少年団への支援。
 - ◆そのために市民は、積極的な情報収集、協力して参加する。
 - ◆そのために行政は、情報提示、場所の確保、指導者の募集、指導者の育成に努める。

くらしづくり：福祉（地域福祉）

目標とするまちの姿（将来像）

- ・手をつなごう！地域の和

将来像の考え方

- ◆今後増加する高齢者の知恵や経験を活かし、ともに支えあう地域福祉体制をつくる
- ◆子どもから高齢者までが地域で気軽に交流できる場、機会を確保する
- ◆子ども会の活性化

方策の案

①ともに支えあう地域福祉体制づくり

- ・住民福祉に大きく関連する仕事は、仕事の内容を公開し、有償、公募ボランティアの援助体制にする。
- ・福祉センターや小学校等にボランティア活動の拠点を確保する。
- ・高齢者のための学習センターの開設（IT学習、職業支援、児童学習の補助活動、生涯学習）
- ・高、大学生や高齢者からボランティアを募る。
- ・高齢者の方の病院への送迎の強化。
 - ◆そのために市民は、ボランティアに積極的に参加する。
 - ◆そのために行政は、ボランティアへの見返り、点数制度。ボランティアをした分をポイント化し、ボランティアしてもらえる制度。ボランティア保険の加入促進。

②交流の場、機会の確保

- ・雑談のできるサロンのような場所の確保。
- ・小学校で空き部屋を利用して、地域住民の交流の場所にする。
- ・市民の交流の場である福祉センター、コミュニティセンター等の駐車場の拡充。

③コミュニティの再構築

- ・自治会や子ども会の加入促進。
 - ◆そのために市民は、積極的に自治会に参画する。自治会と子ども会、老人会、各種団体（スポーツ団体）等、皆で横の繋がりを持つ。
 - ◆そのために行政は、広報等でPRする。自治会、子ども会の加入を促進する。情報を共有化する。自治会のあり方を再検討する。

目標とするまちの姿（将来像）

- ・スポーツを盛んにし、健康を推進！明るく、元気なまち

将来像の考え方

- ◆市民の健康を維持し、医療支出を軽減する
- ◆どういう病気が多いか、疾病情報の提供、活用していく
- ◆総合運動公園の整備（15町歩の土地の活用）

方策の案

●市民の健康の推進

- ・スポーツジムの様な場所を作って欲しい。
- ・社会体育館の運動器具の充実。
- ・ウォーキングコースの設置。コースのPR。
- ・総合運動公園の施設整備（野球場、キャンプ場、テニスコート、花畑等）
 - ◆そのために市民は、積極的にスポーツを楽しむ。イベントづくり（盆踊り等）に参加する。
 - ◆そのために行政は、気軽に参加できるイベント・祭りの企画。各地区の活動の橋渡し。場所の確保、運動器具の充実等。

●健康に関する団体活動の連携

- ・地区保健推進員、医療機関、行政で健康推進会議（仮称）設置し、健康に関する団体活動の連携、情報共有化。

●健康づくり活動の推進、サークル活動等の情報強化

- ・広報でクラブ活動等の活動情報の提供の強化。
- ・広報だけではなくて、小中学校でのチラシ、配布。HP活用なども。チラシを配ることによって、近所の人と交流が生まれる。
- ・地域住民の健康増進のための講習会等の推進。

目標とするまちの姿（将来像）

- ・いざというときに安心できるまち

将来像の考え方

- ◆夜間の緊急病患者の対応
- ◆一人暮らし高齢者への対応の充実
- ◆緊急時の情報提供の充実。緊急情報を24時間音声ガイダンスの導入

方策の案

①いざというときの方策

- ・夜間、緊急病患者に対し、救急車以外の手配場所を市内に、又は病院の当番制、救急車の敏速な医療機関への対応の体制づくり。
- ・緊急時の連絡先の市民への周知。広報やHPでもPRしていることを周知する。
- ・夜間診療の受付病院を増やす。
 - ◆そのために市民は、緊急時対応の電話番号の案内シールをわかりやすいところに貼って、理解しておく。
 - ◆そのために行政は、緊急時対応の電話番号の案内シールを作成し、配布する。
- ・一人暮らし高齢者、障害者支援マップを作成し、安否確認できる体制を整える。
- ・乳幼児の救急病院がなく、富里市に確保して欲しい。
- ・緊急時の情報提供。緊急情報を24時間音声ガイダンスで案内する。

目標とするまちの姿（将来像）

・教えあい、みんなで学ぼう！

将来像の考え方

- ◆ひとづくりを大切にしたい。
- ◆心の豊かさづくり。
- ◆市の宝（財産）の再確認と活用の提案

方策の案

①住民全員での教えあい

- ・大学生、高校生を中心としたボランティアを活用し、小中学生の学力向上を図る。
- ・英語教育、法律、保育や地域イベントへの高校生、大学生ボランティアの参加を促進する。
- ・大学生、高校生、高齢者などの住民全員の力を活用する。
 - ◆そのために市民は、積極的に参加協力する。
 - ◆そのために行政は、教えあいの場所の確保、情報提供、経済的支援。学力向上のための課外授業（夜スペ等）の実施、ボランティアの募集、人材の確保。

②高齢者の活用

- ・高齢者が、小中学生の学習の手伝いをする。
- ・休耕地を有効に活用し、家庭菜園の奨励や交流を促す。
- ・高齢者のボランティアを募り、休耕地の活用し、お花畑などをつくり観光（花摘み、景観）に力を入れてはどうか。

くらしづくり:教育文化(多様な学習・交流の場確保)

目標とするまちの姿(将来像)

・もとう…心の豊かさを。

将来像の考え方

- ◆住民全体(子ども会、PTA、自治会、高齢者(老人会)等)で子どもを育てる
- ◆全員参加のまちづくり
- ◆子どもが元気に挨拶できるまちづくり

方策の案

①多様な学習・交流の場の確保

- ・土曜日の小学校を交流の場として利用。
- ・お年寄りと児童の交流の場。
- ・開かれた学校、安全面を検討し、市民が活用できる学校施設。
- ・こどもの遊び場所、小、中学校のプールの開放。
- ・中央公園の水生植物園脇の水辺を綺麗にし、幼児、子供に開放。
- ・近隣市町村とともに大学の誘致を推進する。
 - ◆そのために市民は、文化活動に積極的に参加。地域の人達がともに声をかけあう。
 - ◆そのために行政は、場所の提供。文化活動のPRに力をいれる。

②生涯学習センター

- ・学習機会の提供(IT、職業、子どもの学習支援の勉強)。
- ・サロンのような場所の確保。
- ・グループ、サークルの指導員の育成、活動の場の確保。
- ・サークル活動のPR。
- ・積極的な学習活動の糸口となる場所の確保。

目標とするまちの姿（将来像）

- ・自分が主役でやろう！環境美化！！

将来像の考え方

- ◆環境のために、自分たちでなにができるのか
- ◆エコ教育の推進
- ◆捨てるごみ、まだ使えるものはないですか
- ◆市民のマナー、モラルの向上

方策の案

①リサイクルの推進

- ・空き施設を利用し、市民の知恵やノウハウで、まだ使えるものを使えるように（家具、机など）する。
- ・小、中学校のリサイクル活動を活発にし、資金を確保し、学用品や子ども会・自治会の活動費用に活用したい。
- ・リサイクル活動に補助金。
 - ◆そのために市民は、フリーマーケットへの出店、活用。
 - ◆そのために行政は、技術がある人の協力を得る。場所の提供。道具の貸与。リサイクル活動に補助金。

②エコ教育の推進

- ・環境に関する教育（エコ教育）を学校教育、生涯学習等で推進する。
- ・ペットボトル集め、お金になって、本が買えるといった還元の仕組みを、実感を与えられるエコ教育の推進。
 - ◆そのために市民は、日ごろから関心を持って協力する。（資源回収、ペットボトル集め等）。
 - ◆そのために行政は、エコ教育のPR。教育内容の充実。

③景観形成や地域環境の維持管理

- ・谷津をきれいにし、源氏ボタルを増やし、ホタルの里をつくり、人を集めたい。
- ・スイカロードレースの沿道にアジサイを植える。

④マナー・モラルの向上

- ・たばこの吸い殻の投げ捨て、不法投棄、ペットの糞等の散乱。
 - ◆そのために市民は、自分のため、他人のため、未来のために環境を汚染しない。ゴミ出しのルールを守る（自己責任の欠如）。
 - ◆そのために行政は、マナー、モラルアップのPRに努める。

くらしづくり：市民への情報提供

目標とするまちの姿（将来像）

- ・積極的な情報共有で住みやすいまち

将来像の考え方

- ◆誰もがわかる情報公開
- ◆市民一人ひとりの責任の再確認
- ◆積極的な情報収集

方策の案

①市民の情報の共有化

- ・一人暮らし高齢者、障害者マップ。
- ・地デジ購入補助をし、情報媒体が無くなることを防ぐ。
- ・権利擁護の制度を理解してもらい、活用して欲しい。
- ・自治会などに入っていない人が多く、回覧板で伝達できないので、全世帯が自治会に参画するよう促す。

②市からの情報提供

- ・防災行政無線が聞えない。その充実とともに、補完する情報提供手段（電話）等の確保が必要。
- ・防災メールの充実。
- ・福祉、健康等の行政が提供するサービスのガイドブックや情報コーナーの拡充が必要。
- ・広報紙の内容充実。各自治会の活動内容の情報提供、PR。
- ・市から市民への情報提供方法の周知。
- ・防災無線を補完する電話の音声ガイダンスによる情報提供。

③情報共有化をととしたコミュニケーションの拡充

- ・小中学生による、お年寄りの方の家（一人暮らし中心）への、学校の行事などのチラシ配り。

目標とするまちの姿(将来像)

- ・安全安心なまちをめざして

将来像の考え方

- ・地域は自分たちで守りたい
- ・お互い声のかけあえる、安心できるまち
- ・挨拶は、情報共有の第一歩

方策の案

①防犯のまちづくり

- ・防犯パトロールの強化及び支援、市内の各団体の連携。
- ・迷惑行為の通報体制の充実。(見て見ぬふりをしない。迷惑行為を仲裁するための連絡できる場所が欲しい。)

②安全な福祉のまちづくり

- ・子どもや障害者の人達が通りやすい、人に優しい歩道、バリアフリー化の推進。
- ・駅までの通勤手段である自転車の通りやすい、自転車道路の設置。

③災害時対策の指導強化

- ・自治会活動の一環として、家具の固定の推進などをPRする。
- ・避難場所の再確認、PR、備蓄等の充実、使い方の周知。
- ・災害への備えや備蓄情報の情報提供。
- ・警察署と消防署による災害、犯罪情報の提供、対策の講習会の定期的な実施。
- ・市民は、自主的に災害の準備(備蓄等)をする。

III 参考資料

1. まちづくり市民会議設置要領

(設置)

第1条 富里市の新たな基本構想及び基本計画の策定にあたり，市民からのまちづくりに係る提言を受けることにより，市民と協働による計画づくりを推進するために，富里市まちづくり市民会議（以下「市民会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 市民会議は，富里市のまちづくりについて，市民の立場から意見交換，討議を行い，その結果を提言書としてまとめ，市長に提出する。

(組織)

第3条 市民会議は，委員20人以内をもって組織する。

2 委員は，広報等により公募した者と市長が推薦した者とする。

3 委員は，富里市のまちづくりに関心のある18歳以上の富里市民又は富里市に通勤する者で，継続して参加できる者とする。

(任期)

第4条 委員の任期は，第2条に規定する所掌事務が終了したときまでとする。

(座長及び副座長)

第5条 市民会議に座長及び副座長を各1人置き，委員の互選によりこれを定める。

2 座長は，会務を総理し，市民会議を代表する。

3 座長は，市民会議を招集し，議長となる。

4 副座長は，座長を補佐し，座長に事故あるときは，又は座長が欠けたときは，その職務を代理する。

(運営)

第6条 市民会議は，自主運営を基本とする。

2 市は，事務局として協力するほか，資料，情報等の提供を行い，必要に応じて担当職員，外部アドバイザーを派遣する。

(事務局)

第7条 市民会議の事務局を総務部企画課に置く。

(その他)

第8条 市民会議の会議状況及び提言内容は、広く市民に周知する。

2 この要領に定めるもののほか、市民会議の運営に関し必要な事項は、座長が別に定める。

附 則

この要領は、平成21年2月20日から施行する。

2. 委員名簿

No	氏 名	備 考
1	黒 川 祐 二	公 募
2	松 本 範 行	公 募
3	清 田 美 弥子	公 募
4	座長 大久保 敏 久	公 募
5	大 木 寿美子	公 募
6	中 島 健 二	公 募
7	細 川 由 美	公 募
8	荒 井 一 明	公 募
9	副座長 旗 手 春 次	公 募
1 0	石 橋 早 奈 恵	公 募
1 1	石 毛 順 子	公 募
1 2	椿 光 江	公 募
1 3	塩野谷 雅 司	公 募
1 4	荒 野 峰 之	公 募
1 5	佐々木 百 合子	公 募
1 6	丹 さく子	公 募
1 7	渡 邊 和 典	公 募
1 8	安 池 房 江	公 募
1 9	大 木 沙 織	公 募

アドバイザー

関 谷 昇	千葉大学法経学部准教授
-------	-------------

まちづくり班	くらしづくり班
リーダー：松本 範行	リーダー：中島 健二
書 記：細川 由美	書 記：清田美弥子
班 員：黒川 祐二	班 員：大久保敏久
〃 〃：荒井 一明	〃 〃：大木寿美子
〃 〃：旗手 春次	〃 〃：石橋早奈恵
〃 〃：椿 光江	〃 〃：石毛 順子
〃 〃：塩野谷雅司	〃 〃：荒野 峰之
〃 〃：佐々木百合子	〃 〃：丹 さく子
〃 〃：渡邊 和典	〃 〃：安池 房江
〃 〃：大木 沙織	

3. まちづくり市民会議の進め方

【ワークショップ：ブレインストーミング法の心得】

- 難しく考えずに、普段のままで、「自分の言葉」で語ってみましょう。
- 参加者それぞれが公平な立場で自由な発言を行い、それぞれの発言を最大限に尊重するため、他人の意見を「否定」しないようにしましょう。
- ほかの参加者の意見は「否定」するのではなく、発展させるような＋αの意見を出してみてください。
- 意見は質よりも量を重視しましょう。突飛な意見や個人的に重要でないと思われる意見も、全て思いついたことは列挙することが大切です。
- まちの個性やイメージは、まちづくりにとても大切な要素です。感じたままを素直に表現してみましょう。
- 楽しく、和気あいあいと。しかし、時間には限りがあります。手と脳みそをフル活用して。

【ワークショップの役割分担】

- ◎ ワークショップの進行は、原則として班メンバーが行います。班のリーダーは、ワークショップを進めるにあたって、進行役（交代制でも固定制でも構いません。）、書記（固定制）を選出します。
- ◎ リーダーと書記には、提言書とりまとめの中心を担っていただきます。
- ◎ 会議は原則として2時間以内とし、時間を決めて進めていきます。
- ◎ 事務局（企画課職員・コンサル）は、その進行をサポートします。
- ◎ アドバイザーは、ワークショップの進行に助言を行います。また、提言書のとりまとめにあたっても助言を行います。

【進め方】

○第2回

「まちづくり班」と「くらしづくり班」の決定と話合うテーマ及びワークショップ（ブレインストーミング法）の心得と役割分担の確認。

まちづくり班のテーマ・検討内容

生活・環境

：土地利用、市街地の整備、道路・交通体系、公共交通、
公園・緑地、上・下水道、環境・景観保全、廃棄物処理、
消防・防災、交通安全・犯罪

産業・経済

：農林業、商工業、観光、消費生活

くらしづくり班のテーマ・検討内容

健康・医療・福祉

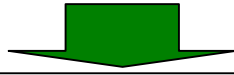
：地域福祉、高齢者福祉、保健・医療、子育て支援、
障害者福祉、国保・年金・生活保護

教育・文化

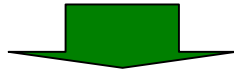
：幼児教育、学校教育、生涯学習、スポーツ、文化、文化財、
青少年育成、国際化・地域間交流、男女共同参画

各班のテーマを踏まえ、「伸ばすべきところ（強みや特徴）」「変えたいところ（改善点や弱点）」「やるべきこと」を自由に検討します。

- 机の上に作業シート（模造紙）を広げ、図のような枠を作ります。横の欄に「伸ばすべきところ」「変えたいところ」「やるべきこと」を書き入れ、縦の欄にテーマを入れます。（図1）



- 「伸ばすべきところ」と「変えたいところ」の欄に参加者が順番にカードに記入した意見を発表し貼り付けます。最初は枠にとらわれず、思うところに貼り付けましょう。（図2）



- ある程度、意見が出つくしたら、次に意見一つひとつについて「疑問点はありませんか」と参加者に聞きます。

このことにより

- すでに出た意見の意味をはっきりさせる
- 発言者の意見の背景を明らかにする
- 質疑応答・対話の中で新しい意見・アイデアを生み出す。
- 批判ではなく、討論素材をさらに加えることが目的。反対意見があったら、それも意見としてカード化する。

以上により、カード数を増やして行きます。



- 次に「伸ばすべきところ」「変えたいところ」の全体を見渡しながら同じあるいは類似のものを揃えてグルーピング※して行きます。そして、そのグループごとに線で囲み、グループの見出しをつけます。その際に、各班のテーマを意識したグルーピングを検討します。グルーピングの範囲は、例えば、公共交通だけで集約できるものもあれば、消防、防災、防犯を一つのグルーピングとなるなど、柔軟に検討します。（図3）

※グルーピング：同じ内容を重ねる→テーマ内容の同じもの、関連性のあるものをまとめる。始めから大きくまとめようとしない。1枚のまま残るカードがあって良いです。



- 次にテーマごとにグルーピングした「伸ばすべきところ」「変えたいところ」の内容を、さらに大きなグルーピングとします。そして、「伸ばすべきところ」「変えたいところ」を箇条書で新たなカードに整理します。
- 「やるべきこと」をカードに記入して貼り付けます。「やるべきこと」の内、市民が主体的にできることについても検討します。そして、新たなカードに整理します。（図4）

○第3回

第2回の積み残し作業と、テーマごとに「伸ばすべきところ」「変えたいところ」「やるべきこと」を踏まえて、「目標とするまちの姿」を検討します。

○テーマごとにグルーピングした「伸ばすべきところ」「変えたいところ」「やるべきこと」をふまえ「目標とするまちの姿」をカードに記入して貼り付けます。この際、カードへの記入は個人ごとに行っても、グループで話合ってから記入してもかまいません。
(図5)

○第4回

これまで整理した、作業シート（模造紙）を整理（新しい模造紙にマジックで記入）し、班の中間発表会を行います。（図6）

○第5回

提言書のスタイルにした資料により班ごとに確認し、加除修正を行います。

最終的な提言書の確認をします。

○第6回

市長へ提言書を手渡します。

図 1

	伸ばすべきところ	変えたいところ	やるべきこと
生活・環境			
産業・経済			

図 2

	伸ばすべきところ	変えたいところ	やるべきこと
生活・環境	    	  	
産業・経済	    	   	

図 3

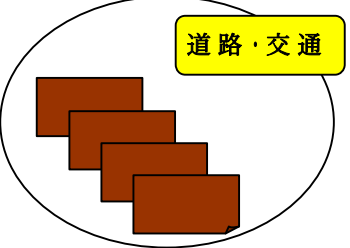
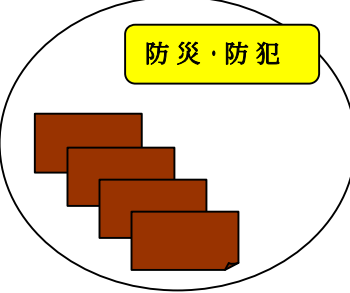
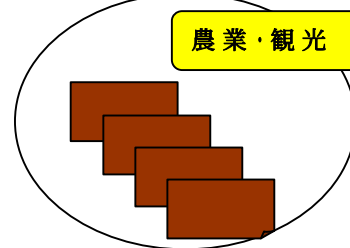
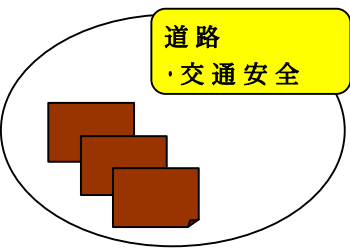
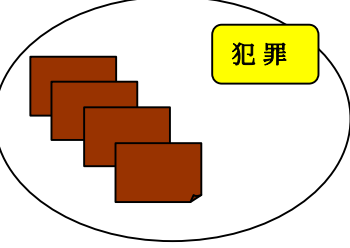
	伸ばすべきところ	変えたいところ	やるべきこと
生活・環境	  	 	
産業・経済			

図 4

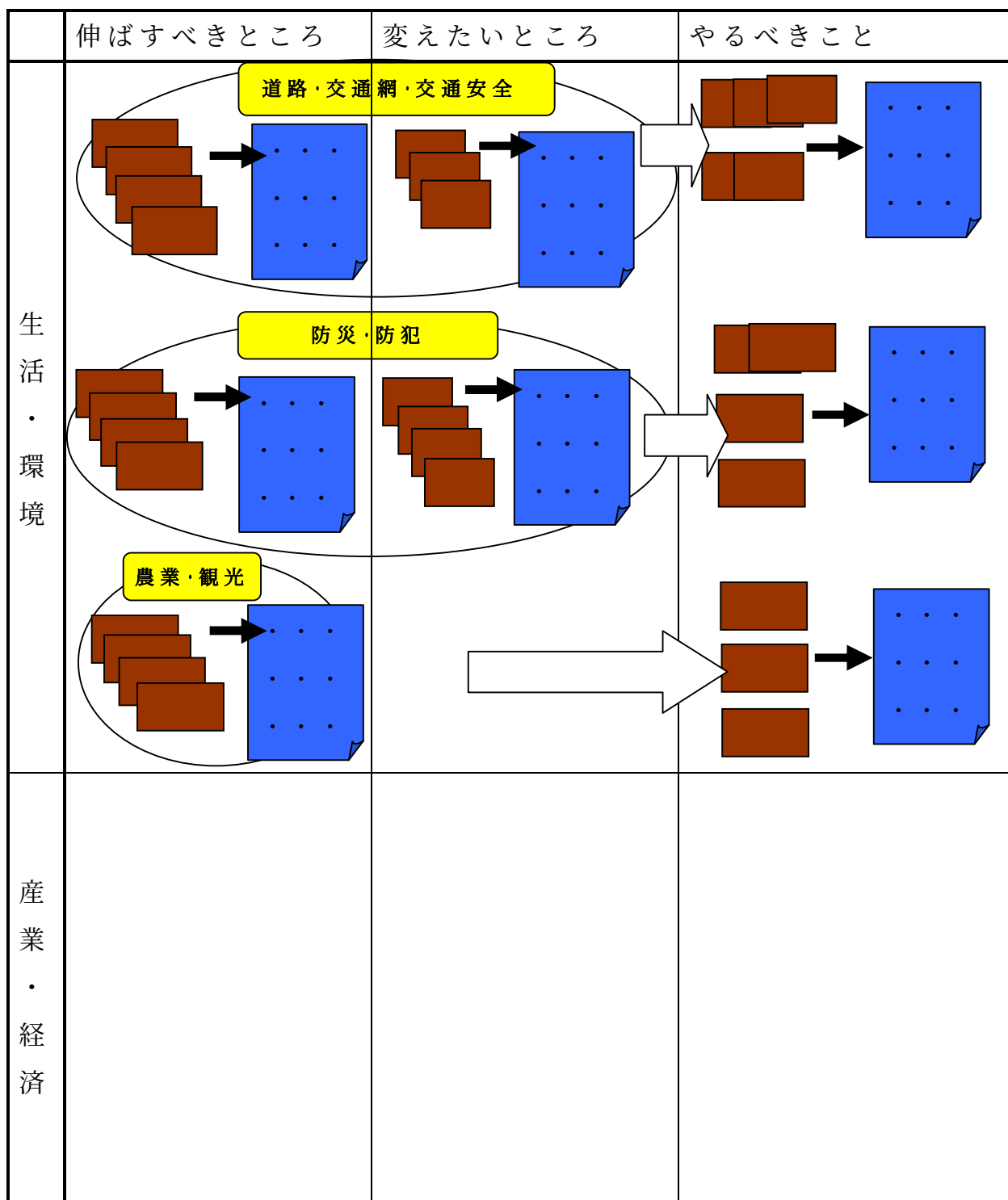


図 5

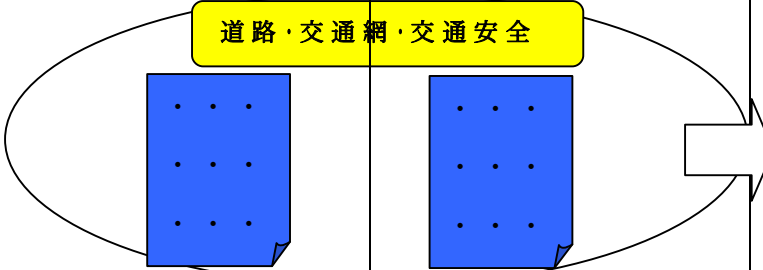
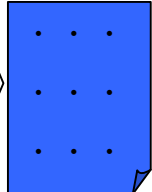
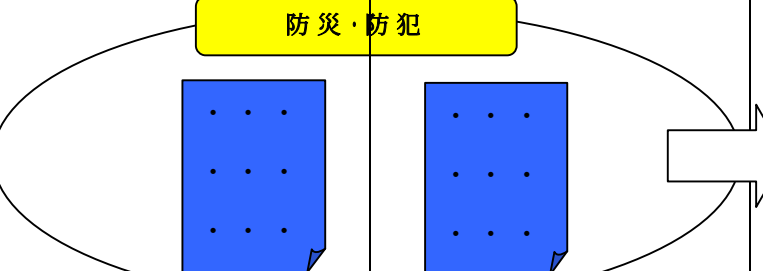
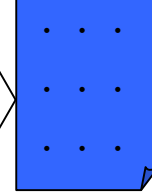
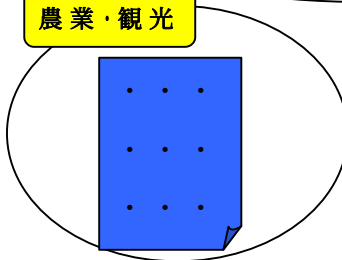
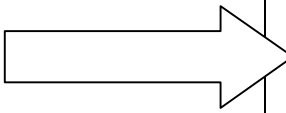
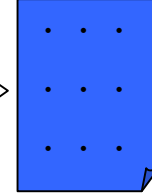
	伸ばすべきところ	変えたいところ	やるべきこと
生活・環境	道路・交通網・交通安全 		 目標とする姿 目標とする姿
	防災・防犯 		 目標とする姿 目標とする姿 目標とする姿
	農業・観光 		 目標とする姿
産業・経済			

図 6

	目標とするまちの姿 (将来像)	将来像の考え方 ・ 伸ばすべきところ ・ 変えたいところ	方策の案 ・ やるべきこと
生活・環境	テーマ：道路・交通網・交通安全 ○○○○○ ○○○○○○○	・ ○○○○○○○○○ ・ ○○○○○○○○○ ・ ○○○○○○○○○ ・ ○○○○○○○○○ ・ ○○○○○○○○○	・ ○○○○○○○○○ ・ ○○○○○○○○○ ・ ○○○○○○○○○ 《市民としてできること》 ・ ○○○○○○○○○
	テーマ：防災・防犯 ○○○○○ ○○○○○	・ ○○○○○○○○○ ・ ○○○○○○○○○ ・ ○○○○○○○○○ ・ ○○○○○○○○○ ・ ○○○○○○○○○	・ ○○○○○○○○○ ・ ○○○○○○○○○ ・ ○○○○○○○○○ 《市民としてできること》 ・ ○○○○○○○○○
	テーマ：農業・観光 ○○○○○ ○○○○○○○	・ ○○○○○○○○○ ・ ○○○○○○○○○ ・ ○○○○○○○○○ ・ ○○○○○○○○○ ・ ○○○○○○○○○	・ ○○○○○○○○○ ・ ○○○○○○○○○ ・ ○○○○○○○○○ 《市民としてできること》
産業・経済			